

はじめに

本市は、環境基本条例に基づく環境基本計画を1994年に全国に先駆けて策定しました。2011年には、地域規模から地球規模まで広範囲に及ぶとともに時代の変化に応じて変遷する環境問題に対応するため、計画の改定を行い、総合的かつ計画的な環境行政を推進し、「環境を守り 自然と調和した活気あふれる持続可能な市民都市」を目指しております。



本市は、全国的に人口が減少に転じる中でも、利便性の高い生活都市として人口が引き続き増加し、成長をつづけている「元気なまち」です。

こうした中、本市は2017年度に1人1日当たりのごみの排出量が政令指定都市の中で最少となりましたが、市民の皆様、事業者の皆様の御協力により、2018年度においてはさらに排出量が減少し、2年連続で政令指定都市最少となりました。

一方、令和元年東日本台風が象徴する近年の水害等の大規模化や夏の猛暑など、地球環境は危機的な状況にあると認識しております。

世界的に気候変動への対応が加速するなか、本市におきましても、市民生活や事業活動に大きな影響のあるこの喫緊の課題に対応するため、2020年11月に脱炭素社会の実現に向けた戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました。本戦略に基づき、市民や事業者の皆様とともに、我が国の気候変動への対応を先導する具体的な取組を実践し、2050年の脱炭素社会の実現を目指してまいります。

この環境基本計画年次報告書は、環境基本計画の進行管理のため、2019年度における本市の環境の現状と施策の実施状況をとりまとめたものであり、今後の施策推進に活用してまいります。

本書を御覧いただきまして、本市の環境の現状を御理解いただくとともに、本市の環境施策に対し、市民の皆様から御意見・御要望をいただければ幸いに存じます。

2021年1月

川崎市長

福田 紀彦